

安全・確実なME機器操作のための人材育成

医療機器操作強化WG(MEWG)

I. 主な活動内容

1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

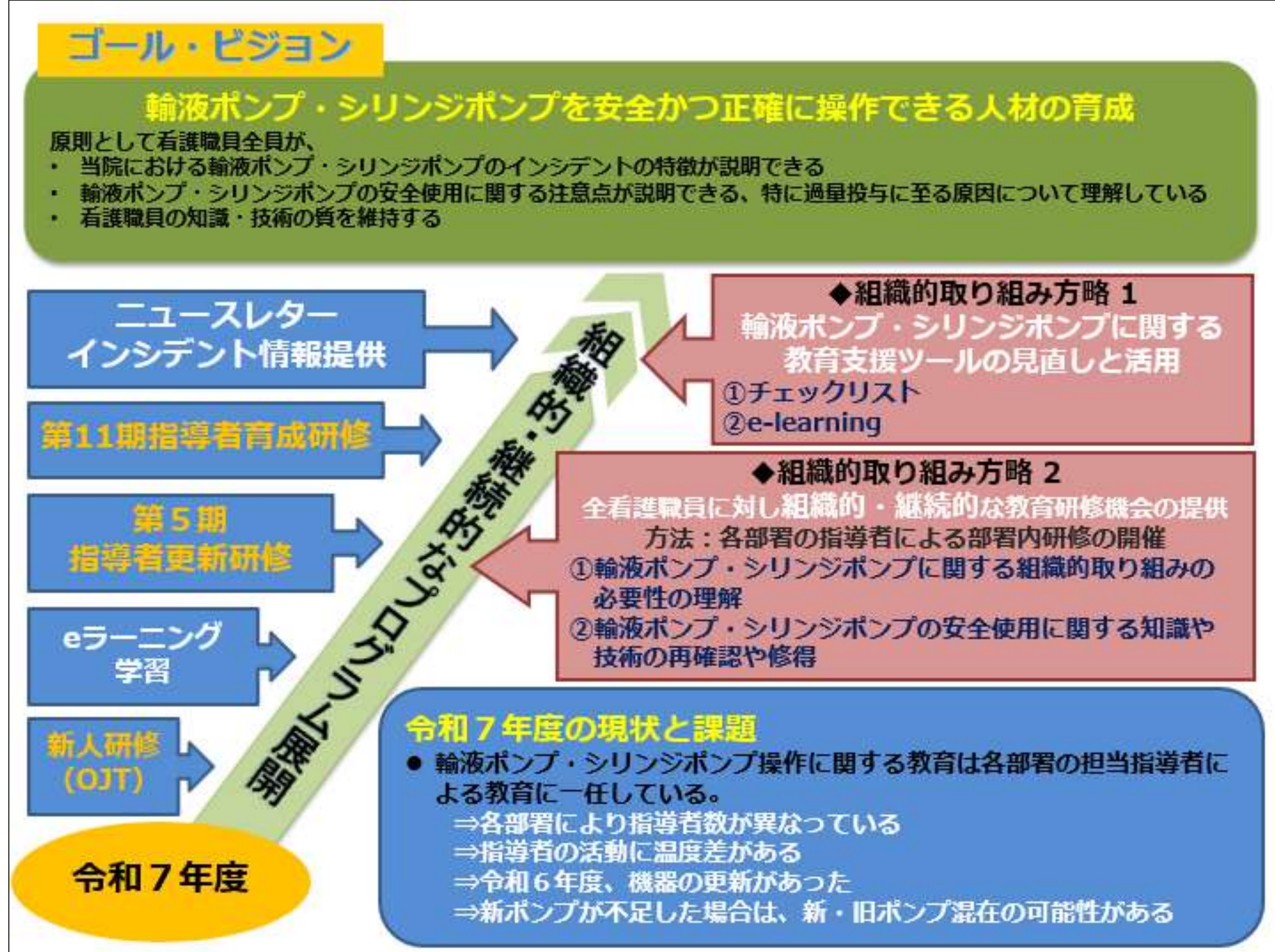
- 1) 新人看護職員研修(OJT)支援
- 2) 指導者更新研修の企画・実施
- 3) 指導者育成研修の企画・運営
- 4) 知識確認テストの実施(100点取得)

2. 部署への支援

- 1) 年間計画、部署内研修計画書、部署内研修実施報告書の活用
- 2) 各部署での部署内教育に関するアンケートの実施
- 3) 知識確認テストの正答率を活用した再学習機会の提供

3. 輸液・シリンジポンプ操作の理解を深めるための啓発活動

- 1) インシデントのデータ収集・分析
- 2) 広報誌「MEWGニュースレター」の作成



II. 教育プログラムの実際

インストラクショナルデザイン(ADDIEモデル)を援用した医療機器操作強化プログラム概要

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31/令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
A Analyze 分析	インシデントレポート分析	★第1回質問紙調査実施	★第2回質問紙調査実施					★第3回知識確認テスト	★第4回知識確認テスト	★インシデント分析集計項目見直し	★インシデント分析集計項目見直し	★インシデント分析集計項目見直し	★インシデント分析集計項目見直し	★インシデント分析集計項目見直し	★インシデント分析集計項目見直し	
D Design 設計		●医療機器操作強化WG設置 ●教育研修プログラム設計	●教育研修プログラム再計画								●新人看護職員研修を部署研修に変更				●輸液ポンプ・シリンジポンプの新機種導入	
D Develop 開発		●DVD・チェックリスト作成 ●eラーニング教材作成	●シリンジポンプ学習教材開発	●シリンジポンプ学習教材 ●輸液ポンプ学習教材開発 チェックリスト改訂			●輸液・シリンジポンプチェックリスト改訂		●看護手順・基礎編改訂	●輸液・シリンジポンプチェックリスト改訂		●輸液・シリンジポンプチェックリスト改訂	●輸液・シリンジポンプチェックリスト改訂	●輸液・シリンジポンプチェックリスト改訂	●輸液・シリンジポンプチェックリスト改訂	
I Implement 実施	① 1st 指導者育成 ② 2nd 指導者育成 ③ 3rd 指導者育成 ④ 4th 指導者育成	第1段階 第1期スーパー指導者育成 第2段階 ファシリテーター育成 第3段階 第1期指導者育成 第4段階 中途採用者・異動者対象に随時実施	第1段階 第2期スーパー指導者育成 第2段階 ファシリテーター育成 第3段階 第2期指導者育成 第4段階 中途採用者・異動者対象に随時実施	第1段階 第3期スーパー指導者育成 第2段階 ファシリテーター育成 第3段階 第3期指導者育成 第4段階 中途採用者・異動者対象に随時実施	第1段階 第4・5期スーパー指導者育成 第2段階 ファシリテーター育成 第3段階 第4期指導者育成 第4段階 中途採用者・異動者対象に随時実施	第1段階 第6・7期スーパー指導者育成 第2段階 ファシリテーター育成 第3段階 第5期指導者育成 第4段階 中途採用者・異動者対象に随時実施	第1段階 第8期スーパー指導者育成 第2段階 ファシリテーター育成 第3段階 第6期指導者育成 第4段階 中途採用者・異動者対象に随時実施	●eラーニング学習(全スタッフ100点取得まで実施) 第3段階 第6期指導者育成 第1期指導者更新研修 第2期指導者更新研修	●eラーニング学習(全スタッフ100点取得まで実施) 第3段階 第7期指導者育成 第2期指導者更新研修 第3期指導者更新研修	●eラーニング学習(全スタッフ100点取得まで実施) 第3段階 第8期指導者育成 第3期指導者更新研修 第4期指導者更新研修	●eラーニング学習(全スタッフ100点取得まで実施) 第3段階 第9期指導者育成 第4期指導者更新研修 第5期指導者更新研修	●eラーニング学習(全スタッフ100点取得まで実施) 第3段階 第10期指導者育成 第5期指導者更新研修 第6期指導者更新研修	●eラーニング学習(全スタッフ100点取得まで実施) 第3段階 第11期指導者育成 第6期指導者更新研修 第7期指導者更新研修	●eラーニング学習(全スタッフ100点取得まで実施) 第3段階 第12期指導者育成 第7期指導者更新研修 第8期指導者更新研修	●eラーニング学習(全スタッフ100点取得まで実施) 第3段階 第13期指導者育成 第8期指導者更新研修 第9期指導者更新研修	
E Evaluate 評価	1 Reaction 参加者の反応 2 Learning 知識やスキル習得状況 3 Behavior 学習内容の活用状況(職場での活用・行動変容) 4 Results 行動変容によって得られた組織貢献度	★第2回質問紙調査実施 インシデントレポート分析						★第3回知識確認テスト	★第4回知識確認テスト	★第5回知識確認テスト	★第6回知識確認テスト	★第7回知識確認テスト	★第8回知識確認テスト	★第9回知識確認テスト	★第10回知識確認テスト	★第11回知識確認テスト テスト正答率に応じ、各部署での再学習

<指導者育成研修>

指導者: MEWGメンバー

受講者: 部署から看護師長が選出した副看護師長または看護師

内容: 輸液ポンプ・シリンジポンプの使用法やアラーム対応についての講義、指導方法について演習を行う

指導者育成研修の講義・演習

輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい使い方・指導方法、起こりやすいトラブルと対処方法についてチェックリストを使用して講義・演習

部署内研修の実施計画表

部署内研修の実施・評価(令和2年より新人看護職員研修を部署で実施)

①令和6年度 指導者年間活動計画

*フォーマットはメールで送信します。
期限: 年間活動計画(ピンク)2023年2月29日(木)24:00 活動内容(グリーン)2025年1月31日(金)24:00
提出方法: 代表者が部署教育担当者へ提出 → 教育担当者が教育WG共有Proselfへ提出



部署名	代表者氏名	代表者アドレス
部署・指導者氏名	第1期: [] 第2期: [] 第3期: [] 第4期: [] 第5期: [] 第6期: [] 第7期: [] 第8期: [] 第9期: [] 第10期: [] 第11期: [] 第12期: []	
活動目標	病棟看護職員全員が輸液ポンプ、シリンジポンプを安全に正しく使うことができる	
活動計画(3つでなくてもかまいません)	活動内容	担当者
	①新人看護師に講義と演習で輸液ポンプ、シリンジポンプの使用法と注意点を伝える	指導者全員
	②病棟看護職員にナースングスキルの視聴、e-learningのテスト実施を促す	指導者全員
	③ポンプ関連のインシデントやMEWGニュースレターの閲覧を促す	指導者全員
実施した活動内容	①6月に新人看護師に対して輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱いや注意点の講義(20分)と演習(40分)を実施。また、過去にあったシリンジポンプでの麻薬急投与事例も伝え、当病棟での使用薬剤による注意点も加えた。ナースングスキルでの動画視聴も促した。 ②10月末に輸液ポンプ・シリンジポンプのe-learningテストが開始され、スタッフに声掛けして、全員の実施・合格を確認した。年末年始に、2年連続正答率9割以下の問題を全スタッフに口頭で確認した。また正答率9割以上の問題を、スタッフの希望に応じて確認したり、正答理由を教えたりした。12月初旬に新規輸液ポンプ、シリンジポンプの使用動画視聴を全スタッフに促し、視聴確認も行った。 ③1月2日にMEWGニュースレターを全員に配布して、輸液や血液製剤の予定量を必ず設定することを説明した。また過去のMEWGニュースレター閲覧を促した。実際のインシデントは6月の指導時に伝えた。	
活動してよかった点・評価	輸液ポンプ、シリンジポンプに対するスタッフの理解度を再確認でき、各スタッフに合わせた指導も行ったことは良かったと考える。前年度の反省から今年度の新人教育では講義を短めにして、演習時間を長めにした。講義だけでは新人に伝わっておらず、物品に触れ自身で操作してもらうことで理解できた反応・発言が得られた。MEWGから依頼されたe-learningテスト正答率9割以下の問題確認は、自分にとって初めてのことであった。普段はほとんど指導しない2年目以上の看護師の理解度を再確認する良い機会でもあり、部署でも今後取り入れられそうなる取り組みであった。	
振り返り・今後の課題・次年度へ向けて	今後も安全に使用するためにも輸液ポンプ、シリンジポンプに関連した情報伝達を適宜行い、指導していくことが課題と考える。指導に関しては、勤務の関係でもまとまった時間を取ることが困難で、当病棟の新人看護師全員に対して、一度の講習演習で指導することはできなかった。しかし、そのことでそれぞれのスタッフの理解度や習熟度に合わせて、個別に指導することができたので良かった。	
その他、感想	指導に関しては、勤務の関係でもまとまった時間を取ることが困難で、当病棟の新人看護師全員に対して、一度の講習演習で指導することはできなかった。しかし、そのことでそれぞれのスタッフの理解度や習熟度に合わせて、個別に指導することができたので良かった。	

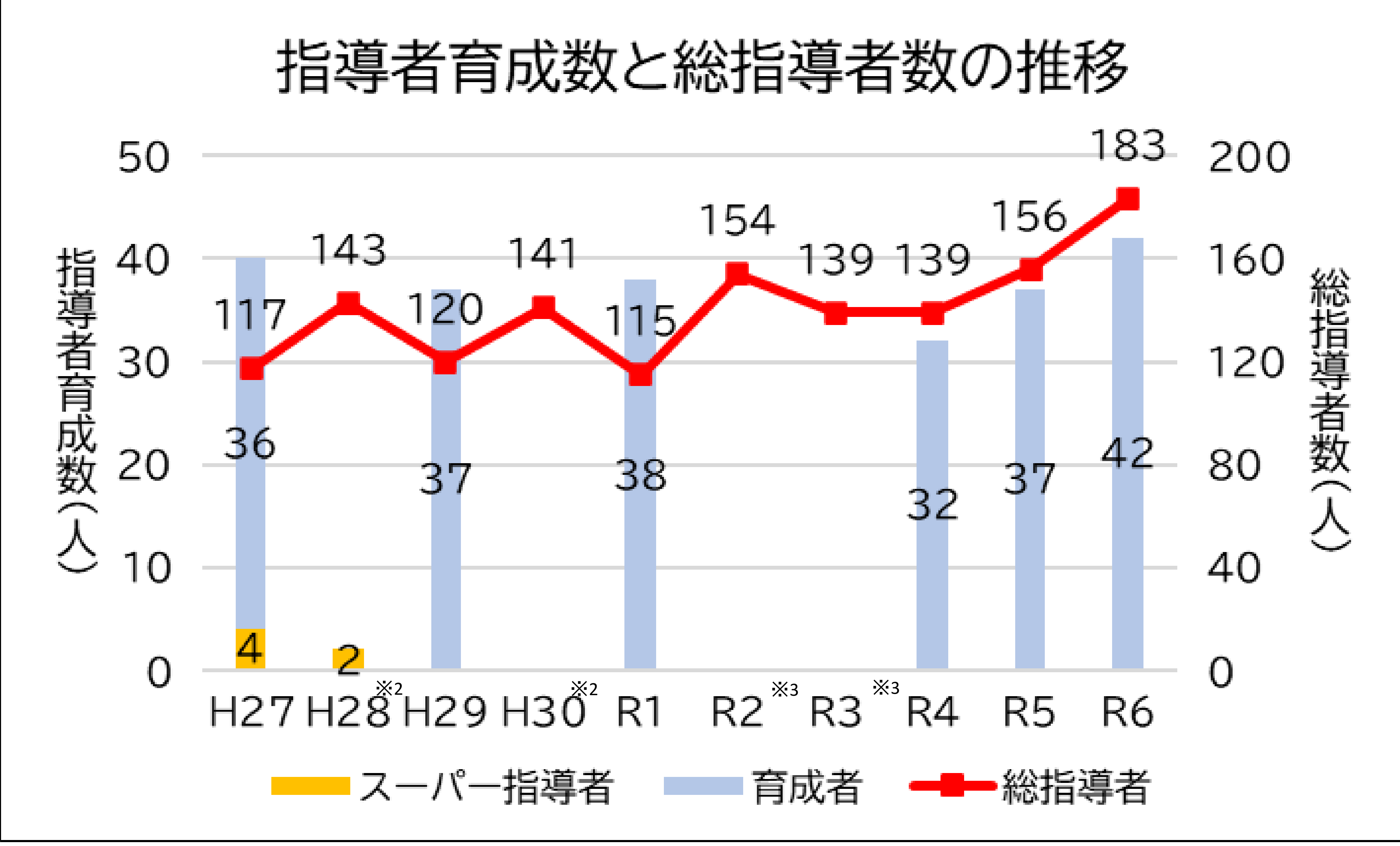


指導者更新研修

更新研修は各自がe-learningで研修を行う

Ⅲ. 成果

九州大学病院ではID理論を活用し、教育の質と安全性を両立させる指導者育成を推進している。当初は、「スーパー指導者※1」を育成し、ファシリテーターの育成、指導者の育成、指導者による部署研修と段階的な育成プログラムであった。現在は、MEWGが中心となって次期指導者の育成研修を行い、研修を受講した指導者が各部署で活動している。



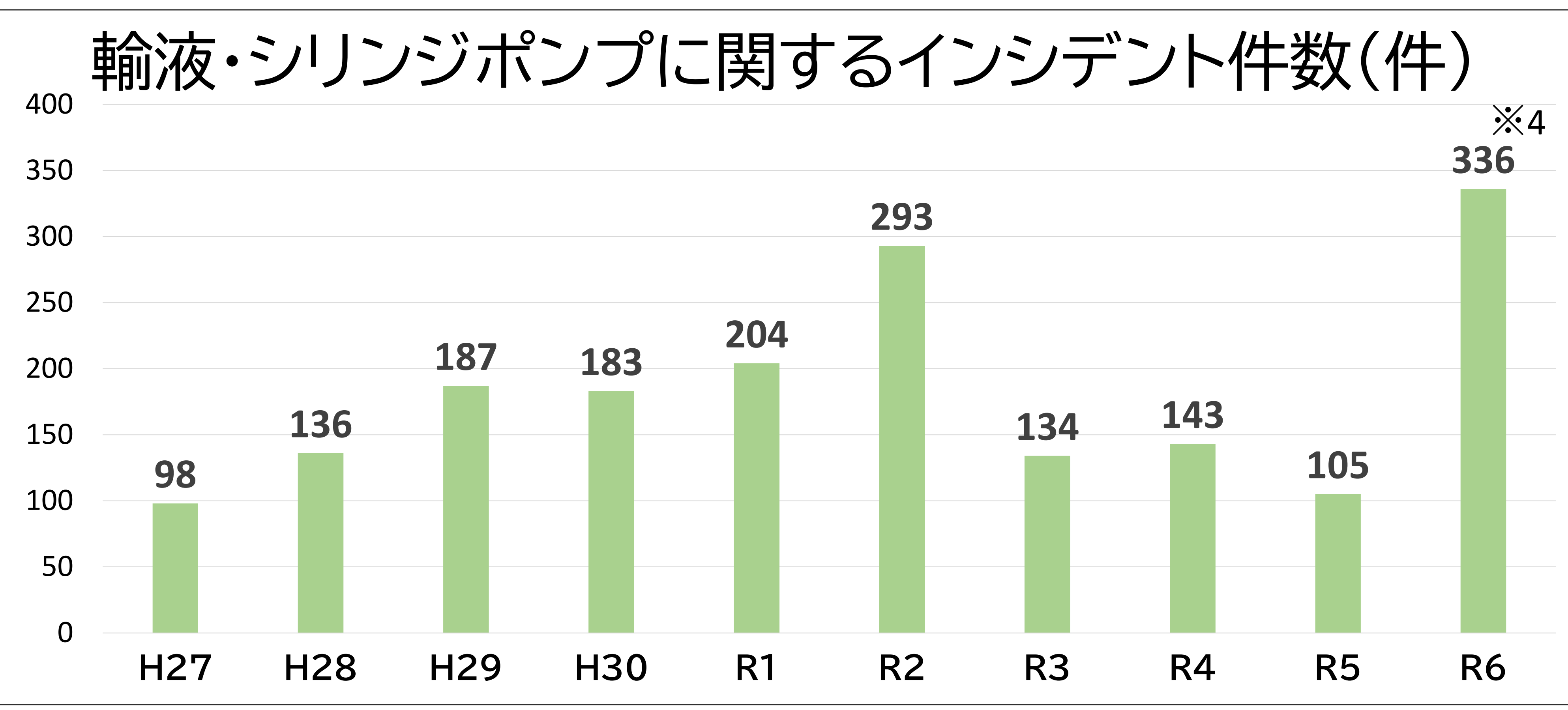
令和7年4月時点の指導者**213名**全部署に在籍することで統一した指導ができる

※1 スーパー指導者とは、医療機器メーカーが主催する「輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム」研修を受講し、輸液・シリンジポンプに関する知識や技術、指導マインドを学んだ者。
スーパー指導者が中心となり、輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者育成研修を実施した結果、輸液・シリンジポンプ指導者がスーパー指導者と同等の役割を担うことができると判断し、平成29年度からスーパー指導者の育成を終了。

※2 平成28年度と平成30年度は、育成者数が安定していたため、2年毎の育成研修の開催となり未開催。

※3 令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行を受け育成研修の開催を見送った。

※4 ポンプの使用台数の増加やレベル0を含めたインシデントレポートの報告の浸透を要因としてインシデント件数は年々増加傾向にある。
しかし、レベル3b以上のポンプに関するインシデントは発生していない。



部署サポートシステム

各部署の指導者がスタッフの指導や日常の輸液・シリンジポンプの使用で困った際に相談できる、MEWGメンバーによる部署サポートシステムを構築している。各MEWGメンバーは担当する部署と定期的にメールのやりとりを行い、研修の進捗状況や困ったことがないか確認し、その結果はMEWGで情報共有している。
相談内容:研修で使用する物品の貸し出しについて、研修時に使用する輸液ポンプの機種について

ニュースレター発行 院内で発生したポンプ関連のインシデントを基にポスター発行 (平成27年から年1回発行)

令和3年度

令和4年度

令和5年度

令和6年度

Ⅳ. 今後の展望

- 輸液ポンプ・シリンジポンプに関する正確な知識と技術の均てん化を図るため、「輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者」「看護キャリアセンター」「MEセンター」等のスタッフを中心に、医療機器メーカーと連携しながら活動を行う。
- 輸液ポンプ・シリンジポンプを安全かつ正確に操作できる人材を育成するため、指導者育成研修、更新研修の計画・運営を継続する。
- 今後も、部署の輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者と連携しながら、看護職員全体で安全管理に取り組めるよう活動していく。